



第38回中和労福協 定期総会 6/9

労福協
特集

助け合う「心」と「行動」で互助運動の「和」を広め、「絆」を一層強めよう！



2003年6月9日、奈良県産業会館において、第38回中和地区労働者福祉協議会定期総会が開催されました。

冒頭、藤原和彦会長は、昨年途中に事故で亡くなられた高谷前会長に哀悼の意を表し、「コロナ禍における行動規制も緩和され、労福協活動を本格的に実施できる状況になってきた。徐々に充実した活動を実施していきたい。」と挨拶しました。

来賓には、近畿ろうどう金庫奈良地区本部・榎谷秀樹事務局長、こくみん共済Coop奈良推進本部・後藤唯治推進部次長、連合奈良中和地域協議会・笠谷卓見議長が臨席されました。また、支援をいただいている中和地区4市4町から祝電・メッセージを頂戴しました。

議案審議においては、第1号議案 2022年度活動報告、第2号議案 2022年度会計決算報告・会計監査報告、第3号議案 2023年度運動方針(案)、第4号議案 2023年度予算(案)、第5号議案 2023年度役員選出案について提案され、それぞれ満場一致で承認、可決されました。

中和労福協は、奈良県労福協と連携し、労働者を取り巻く環境を十分認識し、近畿ろうきん・こくみん共済coopと共に「勤労者福祉」の一翼を担いつつ、連合中和地協と協力し合いながら、加盟団体の一層の交流連帯を図るべく活動を展開していくことが確認されました。



近畿ろうどう金庫奈良地区本部・榎谷秀樹事務局長



こくみん共済Coop奈良推進本部・後藤唯治推進部次長



中和労福協 2023年度役員

| 役員名 | 氏名 | 所属団体 |
|-------|--------|--------------|
| 会長 | 藤原 和彦 | 浪華ゴム労組 |
| 副会長 | 下西 正和 | 関電労組高田支部 |
| 副会長 | 松田 崇 | 香芝市職員労働組合 |
| 事務局長 | 竹平 均 | 連合奈良中和地協 |
| 事務局次長 | 森馬 憲 | 近畿労金高田支店 |
| 幹事 | 村岸 稔文 | 岡本労働組合 |
| 幹事 | 西坂 秀樹 | イムラ封筒労組 |
| 幹事 | 大下 博史 | ヒラノテクシード労組 |
| 幹事 | 中井 秋智 | 御所市職員労働組合 |
| 幹事 | 細川 大地 | 大和高田市病院職員組合 |
| 幹事 | 原塚 秋馬 | 大和高田市職員組合 |
| 幹事 | 上田 拓人 | J P 労組奈良西和支部 |
| 幹事 | 宮崎 貴宏 | JR西労組奈良支部 |
| 幹事 | 松本 勉 | 奈良交通労組 |
| 会計監査 | 野田 陽一 | 近畿労金労組高田分会 |
| 会計監査 | 北野井 暢平 | 大和高田市職員組合 |

奈良県労福協設立60周年記念式典 5/30

2023年5月30日、奈良県労福協は、奈良ホテルに於いて「2023年度会員集会」「設立60周年式典」を開催しました。

記念式典第1部・記念講演は「労働者福祉運動のさらなる推進を！～歴史を振り返りながら～」と題して前中央労福協事務局長・花井恵子氏が、第2次大戦戦後の混乱期に食糧危機、生活物資不足から労働者の生きるための切実な要求から中央労福協(中央物対協)が誕生し、その後、労働金庫、全労済が誕生する歴史を話されました。

第2部は、記念レセプションが行われました。





連合奈良が「原爆展」を開催します 7/26(水)～29(土)



連合奈良

戦争を知らない
私たちができること
忘れないこと
語り継ぐこと
繰り返さないこと

原爆展

「願う」平和から「叶える」平和へ

日時：2023年7月26日(水)～29日(土)
時間：10:00～17:00 [観覧無料]
場所：イオンモール大和郡山 3階イオン直営売場前
主催：日本労働組合総連合会 奈良県連合会

連合奈良は、今年も「原爆展」を開催します。本年度は奈良市・ミナ一ラから場所を移し、イオンモール大和郡山での開催となります。

連合は、核兵器廃絶に向けた取り組みとして、8月6日広島、9日長崎に於ける平和集会の開催をはじめ、世界の恒久平和の実現に向けて取り組んでいます。

ヒロシマ・ナガサキに原爆が投下されて78年、ウクライナ侵攻でロシアは核兵器の使用を否定せず、かつてない危機的状況となっています。

「忘れないこと・語り継ぐこと・繰り返さないこと」をテーマに連合近畿ブロックが各府県巡回して行う奈良県での展示です。是非、平和の尊さについて考えあいたいと思います。



昨年ようす

同時開催

～高校生が被爆体験を絵に描く～ 「次世代と描く原爆の絵」展

被爆者が高齢化するなか、広島市立基町高等学校(普通科創造表現コース)の学生さん達が、被爆体験証言者の記憶に残る被爆時の光景を絵画にし、被爆の実相を絵画として後世に残すこと、そして、絵画の作成を通して、被爆者を思いを受け継ぎ、伝えるものとして作成されました。(※展示は複製画です)



連合の平和運動 I

語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう



平和の礎 (いしじ)

連合は、6月23日、「**平和行動 IN 沖縄**」として、「連合平和オキナワ集会」を開催し、24日にはピースフィールドワークを実施し、アプチラガマ、平和祈念資料館、平和の礎、ひめゆり平和祈念資料館などの戦跡や基地を巡り、沖縄戦の実相と米軍基地の実態を学んでいます。例年、連合奈良からも代表が参加しています。

23日は、沖縄戦犠牲者の霊を慰め世界の恒久平和を願う日として定められた「慰霊の日」です。沖縄戦での犠牲者は20万人以上、その内一般の犠牲者は推計で約10万人されています。沖縄県民の4人に1人が命を落とした壮絶な戦いでした。